

リサイタル、なんとか無事終わることができました。来てくださったみなさん本当にありがとうございました。これからコンサートやおもしろい企画などなどやっていきたいと思っています。みなさんがいるからこそ僕もこのように演奏活動を続けていけます。楽しいギターライフが送れるように一緒にギターをがんばりましょう！さて、れんしゅうれんしゅう！

■右手を鍛える

前号で右手について少し書きましたが、練習方法はいろいろあります。具体的な練習法は教則本などいろいろ出版されているのでそれらを参考にしてください。その他の練習法などはその都度紹介していきます。今号はやるべき練習法やそれらを練習する上で注意すべき点を書いていこうと思います。右手の動きは正確に、そしてリラックスすることが大事です。当たる角度、面についても意識して練習しなければなりません。ゆっくりといろんなところに目を向けてください。

■クラシック編

右手の基礎練習は多数ありますが、それらの練習はすべての曲を弾く上で役に立ちます。トレモロを弾くことは多くの人の目標でもあります。ですがトレモロの動きばかり練習していても効果的ではありません。もちろん意味がないわけではありませんが、もっといろんな練習をするべきなのです。

総合的にいろんなパターンで練習をしていきましょう。

右手の練習で代表的な練習方法はアルペジオです。アルペジオとは日本語で分散和音。和音をバラバラに弾くことです。この練習法は右手にあらゆるパターンを課すことができるので非常に効果があります。曲の中にもよく出てくるのでぜひいろんなパターンを練習してください。

最初から複雑なものをやらないようにしてください。なるべく意識する箇所を減らして、右手の細かい部分に集中するようにしましょう。最初はゆっくりと、メトロノームを使って全部の音をしっかり出してください。なるべく大きな音で。シンプルなものでもテンポアップしてしっかりした音を出すように練習するとどこまでも難しくなっていきます。すぐに難しいパターンへ移行するよりもシンプルなパターン数種類を使ってある程度やり込んでいくのもいい方法かと思います。アルペジオのパターンに慣れてきたら左手の複雑なアルペジオに挑戦してください。左手に気をとられると右手の動きがおろそかになりやすいので今までできていた動きもできなくなってきます。それだけ意識の方向性というのは難しいものなのです。トレモロも同じです。トレモロの動きが大体できたのでトレモロ曲を練習しようと思っても、左手が動くのでなかなかトレモロが上手いれない。なんてことはよくあります。右手の動きというのは、左手の動きにもものすごく影響を受けやすいということです。左手がどんなに複雑になっても右手をしっかり動かせるような安定感が必要になります。複雑な練習の方が良いとは限りません。単純な練習をフル活用して確実なテクニックを身につけてください。

■エレキ編

ピックを使用した場合の奏法パターンはたくさんありますね。オルタネイトピッキング・エコノミーピッキング・スウィープピッキング・スキッピングなどなどいろいろありますが、やはりそれぞれの奏法を練習すべきです。

まずは単純な動きを練習しましょう。スケールはいい練習になります。まずは一本で3音ずつのスケールを使って練習してみてください。そのときに、ダウンピッキングだけでやります。しっかりメトロノームを使って。それから次にアップのみで。次はオルタネイト、そしてエコノミー。などなど同じスケールを使っていろんなピッキングを試してみましょう。しっかりとテンポ・リズムをキープすることに意識を集中しましょう。軽く音を出すのではなく、しっかりとピッキングをして確実に弦を弾いている感覚を感じてください。

それになれてきたら同じスケールを使ってスキッピングなど違う動きに応用してみてください。

■フォーク編

フォークの場合はクラシックと同様に指弾きでアルペジオなどもありますので、アルペジオに関してはクラシック編を参照してください。もう一つ、まずやるべきテクニックはストロークですね。ストロークにはスピード感、そして軽さが大事になってきます。ダウンストロークとアップストロークを交互に練習する場合、アップストロークがおろそかになりやすいのです。手首の振りをしっかりと意識してください。

全部の弦に均等に当たるわけではありません。全部の弦を弾こうとするとストロークの方向が狂いやすいのです。全部の弦を弾こうとするのではなく、手首のスナップ・スピード感を意識してください。単純なコードチェンジとともにストロークの練習をすると効果的でしょう。左手に気をとられてストロークにスピード感がなくならないように注意が必要です。なめるような音を出さないように。フォークギター本来の音が出るようにしっかりと楽器を振動させましょう。そのためには何度も書いてますが、スピード感が必要なのです。

どの楽器についても同じですが、メトロノームを上手く活用することです。右手練習に限ったことではないですが、自分のリズム感のみで練習するのは危険です。客観的にリズムを感じるのならば良いですが、練習中というのは大体客観的に物事を理解できないものです。録音や録画も活用できると良いかもしれませんね。

とにかく、何をやりたいのか等しっかりと目標を持って！